

第1編 現代社会の諸課題

第1章 地球環境を考える

1 地球環境問題

教科書 p.8～p.12

現代社会と環境問題

1. 大量生産と大量消費⇒有限な地球環境が危機⇒ [1.] 問題の発生
2. [1.] 問題：温暖化，オゾン層破壊，酸性雨，森林の減少や野生生物種の絶滅に象徴される [2.] (エコシステム) の破壊，砂漠化，海洋汚染など
3. 最も深刻な影響を与えると考えられているもの… [3.]

地球温暖化

1. 大気中の二酸化炭素 (CO₂) などの [4.] によって，地球の気温は生物が生存できる一定の温度を維持してきた
2. [5.] を大量に使用⇒大気中の [4.] が増加⇒温室効果が強くなり，地球全体の平均気温が上昇… [3.]
3. [6.] (気候変動に関する政府間パネル) の報告書⇒現在のペースで [4.] の増加が続くと，今世紀中に地球の平均気温は0.3～4.8℃，海水面は26～82cm上昇すると報告
4. **影響** 海水面の上昇⇒低地の島国が水没⇒島民の移住が必要⇒ [7.] の発生も
異常気象が頻発⇒農作物の収穫が減少⇒食料不安
急速な気候変化⇒ [2.] を乱す⇒絶滅生物種の増加，感染症拡大

オゾン層の破壊

1. 成層圏の [8.] …太陽光中の紫外線を吸収する性質をもつ
2. [9.] ガスが [8.] を破壊⇒ [10.] の発生
3. [9.] ガス全廃への取り組み⇒1985年 [11.] 条約⇒87年 [12.] 議定書⇒2009年末までに世界で全廃 [8.] を破壊しない [9.] ガスの [13.] も温室効果が問題視され，排出量を抑制する対策が求められている

酸性雨

1. pH5.6以下の酸性度の強い雨… [14.]
2. [15.] 酸化物や [16.] 酸化物が雨にとけ込み発生
被害：農作物の生育を妨げる・樹木を枯らす・湖沼を酸性化

3. [17.] などの大気汚染物質が国境をこえて拡大
⇒ [18.] が深刻化⇒国際的取り組み必要

森林破壊と野生生物種の絶滅

1. 世界の森林は熱帯地域を中心に急速に減少⇒ [19.] の深刻化
2. **原因** 商業目的の伐採, 耕地・放牧地への転用, 道路・ダム建設などの開発, 燃料用の薪炭の過剰な採取など
3. **結果** 温室効果促進⇒洪水や干ばつ, 土壌流出・砂漠化
熱帯林の減少⇒ [20.] の絶滅を招く
4. **対策** 野生の動植物の保護を目的とした条約締結

1971年	[21.] 条約	水鳥の生息地, 生態系の保護
1973年	[22.] 条約	野生動植物の種の国際取引規制
1992年	[23.] 条約	生物の多様性保全

5. [23.] 条約は, 広く生物の多様性を保全し, 生物資源の持続可能な利用と遺伝資源の利用から得られる利益の公正な配分とをはかる目的で制定

砂漠化の進行

1. 乾燥, 半乾燥, 乾燥半湿潤地域における土地の劣化… [24.]
2. **原因** 気象的要因もあるが人為的要因も大きい
3. **被害例** サハラ砂漠以南のサヘルはとくに進行
4. アフリカの深刻な干ばつ⇒1994年 [25.] 条約締結

廃棄物の越境移動

1. 有害廃棄物の越境移動とその処分を規制… [26.] 条約
2. 海洋環境の保護と保全を義務づけ… [27.] 条約

ポイント

空欄4. は, 地表からの熱の一部を吸収するとともに熱を地表に戻す。

理解力up!

石油や石炭などの空欄5. を燃焼させると大気中に二酸化炭素が排出される。石油や石炭の成分や生成過程を確認しよう。

理解力up!

紫外線の量が増えると植物の生育に影響を及ぼしたり, 人間では皮膚癌や白内障が増える。

7. [] の減少
8. []
9. [] の越境移動
10. [] 国

ヒント

1. 10. は、どのような国があてはまるか、2. は1. と10. の国の間でおこなわれる活動を考える。
3. 4. は、原因となる物質名。
5. 6. 7. 8. 9. は、地球環境問題の事例がはいる。